

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

寒剤及び高圧ガス利用講習会開催

4月23日と24日に寒剤利用講習会が、5月8日に高圧ガスボンベ利用講習会が開催されました。ここ数年受講者が増加していましたが、今年も例に漏れず寒剤利用講習会に約230名、ボンベ講習会に約20名と多くの方々を受講しました。

講習会は、講義と簡単な実習を合わせて2時間30分程度行い、基本的な知識と技術を習得し、寒剤や高圧ガスボンベ等を安全に使ってもらうことを目的に行っています。具体的には、高圧ガス保安法、寒剤及び高圧ガスの性質、事故例と対策、容器の取り扱い、寒剤供給の受け方などの講義を行い、その後、保安教育用ビデオにより理解を深めてもらっています。

講義の最後には簡単なテストを行うことにより、理解度のチェックをしていますが、このテストは必要最低限であり、安全に使用するにはまだ多くの知識と経験を必要とします。また、慣れから起こる事故もたくさんあります。

これから寒剤や高圧ガスボンベ等を使い始める人も長年使っている人も、講習会で得た事を活かして取り扱いには十分注意して実験を行ってください！

特によく分からないときには、すなおに誰かに聞いて(液化室でも構いません)、正しく安全に寒剤や高圧ガスを取り扱しましょう！



講義の様子

研究室巡視結果報告



NMRの回収ライン

3月27日から始めた研究室の巡視が、4月下旬に終了しました。ヘリウム回収ラインについては、概ね良好であり接続不良等の大きな問題点はありませんでしたが、装置からのヘリウムガス回収方法の一部に問題がありました※1。研究室毎の指摘事項については、研究室の代表者及び担当者へ報告済みですので、早急に対処して下さい。

また、今回の巡視ではトランスファーの仕方等、ヘリウムの取り扱い方を見ることは出来なかったもので、これを機会にヘリウム回収の重要性を再認識し、ヘリウムの取り扱い方を見直して欲しいと思います。

※1 MPMSやPPMSは、通常保圧しているヘリウムガスを回収する構造になっていないので、改造が必要です。詳細は下記参照。

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/returntec/returntec.html#equipment>

問い合わせ [E-mail: ekika@issp.u-tokyo.ac.jp 内線:63515]